

### 3. まとめ

#### 時間要件による外来管理加算算定患者数の減少

外来管理加算を算定したことのある医療機関のうち、時間要件を満たさないため外来管理加算を算定する患者数が減少した医療機関は 43.7%、算定をやめた医療機関が 4.1%であり、合計 47.8%が時間要件により負の影響を受けていた。(表 2-3-1)。

中医協では、2008年4月改定の審議過程で、厚生労働省「内科を主たる標榜科とする診療所において、医師一人当たりの、患者一人当たり平均診療時間の分布を調査したところ、平均診療時間が5分以上である医療機関が9割」<sup>1</sup> (※注)との分析結果が示された。逆にいえば時間要件の影響を受ける医療機関は約1割とも受け取れるが、今回の調査からは、5割近くの医療機関に影響が出ていることが明らかになった。

※注)「診療」時間の分析である。今回加えられた外来管理加算の時間要件は「診察」時間に対するもの。

(再掲)表2-3-1 いわゆる「5分要件」により患者数減少・算定中止などの影響を受けた医療機関

	診療所		病院		計	
	患者数	構成比	患者数	構成比	患者数	構成比
外来管理加算を算定したことがある	1,674	100.0%	220	100.0%	1,895	100.0%
2008年3月以前から算定している	1,501	89.7%	209	95.0%	1,711	90.3%
うち患者数が大幅に減少・減少	963	57.5%	151	68.6%	1,115	58.8%
① うち「おおむね5分を満たさないため」	704	42.1%	124	56.4%	828	43.7%
2008年4月以降、算定をはじめた	61	3.6%	6	2.7%	67	3.5%
2008年4月以降に算定をやめた	112	6.7%	5	2.3%	117	6.2%
② うち「おおむね5分を満たさないため」	76	4.5%	2	0.9%	78	4.1%
「5分要件」の影響を受けた医療機関 ①+②	780	46.6%	126	57.3%	906	47.8%

\*診療所か病院かを回答していない医療機関を除く

<sup>1</sup> 2007年12月7日、中医協基本小委資料